

---

# 夜の訪問者

マ王

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夜の訪問者

### 【Nコード】

N1433L

### 【作者名】

魔王

### 【あらすじ】

1人で留守番中だったA君は、夜にやって来た訪問者を追い返す。しかしその夜、近所で殺人事件が起こり……

あるところにA君という少年がいた。A君の家は3人家族で、父と母と仲睦まじく暮らしている。

ある日、父と母が揃って出張で留守にすることになった。A君を心配する2人だったが、A君ももう小学生。1人でも大丈夫だと、笑顔で2人を送り出した。

その夜のことだった。A君は既にベッドの中。静まりかえった家の中にチャイムの音が鳴り響く。こんな時間に誰だろうと思いがながらインターフォンを取るA君。

「……どちら様ですか？」

「た、助けてくれ！ 追われてるんだ！」

相手はかなり切羽詰まった状況のようだったが、

「今は親いませんので。お休みなさい」

と、A君は寝ぼけているようだった。そのままベッドに戻るA君だったがその直後、再びチャイムが鳴り響く。

「頼む！ 中に入れてくれ！ 殺される！」

「そうですか。すみませんが明日出直してください」

A君は完全に寝ぼけているようだった。相手も諦めたのか、はたまた追っ手に捕まったのか、それ以上チャイムが鳴ることはなかった。

翌日の夕方、帰ってきた両親は何かを話しているようだった。

「昨日近所で殺人事件があったらしい」

「怖いわねー。でもあの子が無事でホッとしたわ」

その会話を聞いたA君は昨夜のことを思い出していた。

「どうしよう！ きつと僕のせいだ！」

突然騒ぎ出したA君に事情を聞く両親。A君は昨夜のことを話した。

「お前が無事ならそれでいいんだ。お前は何も悪くない」

「そうよ。でもね。警察の人が話を聞きに来るかもしれないから、その時はちゃんと答えるのよ」

そう言いながらテレビをつける。夕方のニュースをやっているようだった。

「殺人事件ってこれのことじゃないか。もう犯人捕まったんだな」  
「強盗殺人ですって。怖いわねー」

両親の言葉に、落ち着きを取り戻したA君はテレビの画面を見た。

「あっ！ この人！」

そこに映し出されていた犯人の顔写真を指さすA君。

「昨日助けてって言ってきたのこの人だよ！」

その言葉に顔を見合わせた両親はA君を抱きしめた。

「本当に、本当に無事で良かった……」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1433/>

---

夜の訪問者

2010年10月15日22時54分発行